

～今できること、これからやるべきこと～

山北高校が臨時休業に入ってから3か月あまりが経過し、このたびようやく学校再開となりました。生徒の皆さん、保護者の皆さん、そして地域の皆さんには、学校が普段の機能を十分に果たすことができない中、大変なご心配をお掛けしております。特に、卒業式・入学式を例年とは違う形で実施せざるを得なかった卒業生・新入生の皆さんには大きな心残りがあったと思います。そうした中でも、PTAを始めとして地域の方々など、学校のことを気に懸けてくださっている方が本当に沢山いらっしゃることを強く感じ、改めて感謝の気持ちで一杯です。先日は地元自治会の方や地域企業の方から心のこもった贈り物を頂戴いたしました。改めましてこの場を借りてお礼申し上げます。

さて、本校では学校再開にあたり、感染予防を重点に置いた「新しい生活様式」を踏まえた学校環境、授業環境を模索しつつ、学習保障など優先すべき取り組みを、段階を経ながら進めていきます。

4、5月中は郵送による課題の送付や、定期的な生徒の健康状況の聴き取り、連休明けからは遠隔会議システムを用いたHRをスタートさせるなどICTを活用した取り組みを推進してきました。学校再開後も分散登校などでは十分な授業展開ができないため、双方向性のあるオンライン授業や動画配信形式（オンデマインド）の遠隔授業も配付課題とともに取り入れ、準備期間や分散登校中における学習保障を図ってまいります。ご家庭におかれましては、なにとぞご理解と環境整備へのご協力をお願いいたします。

着実に努力 凡事徹底 自学自習

今回のことは生徒たちにとってマイナスにもプラスにも働く可能性があると思います。マイナス面は、いうまでもなく生活リズムの狂いと学習の遅滞です。生活のリズムはこれからの学校生活にも影響します。連日、オンラインで朝のHRを実施しているのは、伝達事項もありますが、規則正しい生活状態にしていくという健康管理の目的もあります。中には「夜半過ぎまでゲーム等にはまっている。」「朝は昼近くまで起きてこない。」などの話も聞こえてきます。リズムを戻すため、ご家庭におかれましてはぜひ規則正しい生活に努めていただけますようご協力をお願いします。マイナスの部分は他にもあるとは思いますが、通常の休みよりもさらに長くなったこの時間は、決してマイナスばかりではないはずです。使いようによっては、生徒たちが自らの好奇心のままに想像をふくらませて何かを作ることに打ち込んだり、読み書きを通じて学びを深めたり、自分自身を磨き、自分を高めるチャンスでもあるわけです。準備期間、分散登校中は自分の時間が有り余るほどあるはずで、今からでも遅くはありません。ぜひ普段できないことに取り組んでみてはどうでしょうか。

YAMAKITA HIGH SCHOOL Since 1942

「子ども（生徒）は勉強嫌い」というのは、私たち大人が「させたい勉強」を中心に置いた見方です。子どもたちは元来、知らなかったこと、新しいことを知ることが大好きです。子どもたちの好奇心を目一杯羽ばたかせることを出発点とした、新たな学びが広がっていきますよう、学校でも支援のあり方をさらに検討していきたいと思いますので、これからもご理解・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

着実に努力 凡事徹底 自学自習